

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10681001				
授業名	地域政策論	形態	講義	単位	2
担当教員	渡邊 壽大				
開講学期	2024年度 前学期	曜日・時限	水曜2限		
授業目的	グローバル化の進展に伴って、経済社会環境は大きく変化してきている。そのような環境変化の中で、受講生個々人が地域を構成する一員として、地域を発展させるための解決策について考えられるようになる。				
授業内容	地域経済論の基礎的な理論の他、地域産業をテーマに地域で実際に起きている環境変化を紹介し、地域でどのような政策を実施すべきかを考えられるよう授業を実施する。また場合に応じて、地域の実務者を招いてディスカッションをする機会を設ける。				
到達目標	地域の産業構造を捉えるための力を養う 経済学の理論をベースに地域の課題を捉えられるようになる 上記の知見を基礎にして、地域政策の提言ができる				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。 授業内で数回グループワークを求められることがある。また各授業の終わりに授業内レポートの提出を求める。 その際、インターネット等を通じて調査をしたり、データを集計することが必要であることがあり、各自、適切なデバイス（PC・タブレット等）を持参することが望ましい。 なお、この授業では授業資料の配布や、課題の提示はGoogle Classroomを用いる。 授業開始前までに参加しておくことが望ましい。 招待リンク https://classroom.google.com/c/NjYzMTQwNTEzNDIz?cjc=b2v4j3b 招待コード b2v4j3b				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	成績評価は授業内レポート、中間テスト、授業内テストにより総合的に判断する。				
評価基準	授業内課題 50点 中間テスト 20点 授業内テスト 30点 S:100～90点、A:89～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:60点未満				
試験・レポート等のフィードバック	授業内レポート・テストについては、次回以降の授業で返却・解説等を行う。				
注意事項及び履修条件	予習・復習を欠かさないこと。				
S:100～90、A:89～80、B:79～70、C:69～60、D:60未満					
第1回					
事前学習	「地域」というキーワードをもとに、新聞記事やインターネット記事を検索し閲覧しておく				
授業内容	イントロダクション（授業内容や成績評価の確認）と地域という空間で物事を考えることの重要性を地域差異、地域特性、経済相互関係の点から説明をする。				
事後学習	イントロダクションの内容を確認し、自分の住んでいる地域について調べる				
参考文献					
第2回					
事前学習	「東京一極集中」について、新聞やインターネットの記事を検索し閲覧しておく				
授業内容	「東京一極集中構造を再考する」 東京一極集中構造の発生要因やこれらに対する政策の歴史的経緯を概観する。そのうえで東京一極集中構造は是正されるべきものなのか、各地域はどのように対応すべきかについてディスカッションを実施する。				
事後学習	東京一極集中構造が発生するメカニズムを授業内容をもとに整理する。				
参考文献					
第3回					
事前学習	昨今、九州に半導体工場が立地されている状況について新聞やインターネット報道を確認しておく。				
授業内容	「工場立地政策の過去と現在」 企業がどのような理由で立地するのか、その要因を学習する。授業では特に工場立地要因について講義し、日本の各地方で行われてきた工場立地政策の問題点を指摘する。				
事後学習	産業立地の要因についてまとめる。				
参考文献					
第4回					
事前学習	地域に大きな商業施設があることは地域を豊かにするのかについて、自分なりに考えを整理しておく。				
授業内容	「地域間交易を促進する方策」 経済基盤説から地域が豊かになるために必要な経済構造について学ぶ。そのうえでグループワークを通じて、グループごとに地域の産業政策についての提案をまとめ発表する。				
事後学習	授業内容から地域を豊かにするための条件と比較優位の理論について復習する。				
参考文献					

第5回	
事前学習	インバウンド観光に関する新聞・インターネット報道に目を通し、日本の抱える課題について自分なりに考えておく。
授業内容	「インバウンド観光政策と航空・クルーズ船誘致政策」 人口が減少し、経済規模が縮小していく日本においてインバウンド観光の重要性について講義する。そのうえで日本の各地方が実施している観光政策の評価を行う。
事後学習	インバウンド観光政策における課題を整理し、課題解決策について検討する。
参考文献	

第6回	
事前学習	シンガポールの統合型カジノリゾートについて調べておく。
授業内容	「リゾート開発政策の歴史から考える統合型カジノリゾート政策」 1980年代以降、日本各地で実施されたリゾート開発政策を概観し、これまでの日本のリゾート政策を整理する。そのうえで現在検討されている統合型カジノリゾートの立地当たりの課題について、グループワークを通じて検討し、解決策の提案を試みる。
事後学習	日本の統合型カジノリゾートの立地にあたっての課題を復習する。
参考文献	

第7回	
事前学習	1-6回目の授業内容を復習しておく。
授業内容	中間テストを実施する。
事後学習	中間テストの提出内容を精査する。
参考文献	

第8回	
事前学習	自分の身近な地域から外国へ輸出されているものがあるのか、報道等をもとに調べておく。
授業内容	「輸出の重要性と輸出促進政策」 貿易論の観点から、輸出できる企業はどのような要件を満たすべき必要があるのか、また輸出にあたって必要な実務的な障壁について説明をする。そのうえで実際に日本の各地方で行われている輸出促進政策が、貿易論の観点から適切な対応を行っているといえるのか検討する。
事後学習	古典的貿易論、新貿易論、新々貿易論の要点について整理し、貿易促進に必要な政策について検討する。
参考文献	

第9回	
事前学習	日本の貿易構造についてインターネットで検索し、調べておく。
授業内容	「地方都市の貿易構造と貿易振興政策」 地方都市からの貿易は実際にどのように行われているのかを講義し、地方が海外と直接つながるための海上貿易政策について検討する。
事後学習	JETROの中小企業向けのアンケート調査を概観し、地方の生産者にとって求められている貿易振興政策を考える。
参考文献	

第10回	
事前学習	関税に関する報道資料についてインターネットで検索し調べておく。
授業内容	「貿易自由化政策が地域の生産者に与える影響」 第2次世界大戦後、世界的に貿易の自由化を進めてきた。そのなかで関税が下げられ、外国から安い製品が輸入され苦境に立たされた国内の生産者がいるのも事実である。授業ではグループワークにより、日欧EPAによるチーズの関税撤廃が国内生産者にどのような影響を与えるのか計測し、貿易自由化に際して地域でどのような政策を実施すべきか検討する。
事後学習	貿易自由化によるメリットと、地域に与える影響について授業内容をもとに整理する。
参考文献	

第11回	
事前学習	愛知県飛島村と北海道歌志内市の決算カードをインターネットから取得し、両自治体の財政上の違いについて考えておく。
授業内容	「地域政策における地方自治体の役割」 日本では最も大きな経済主体が自治体という地域が多く存在する。自治体を実施する政策はその財政力に大きく依存するが、授業では地域の産業構造と自治体財政との関係について講義し、自治体財政の観点から望ましい地域産業政策について検討する。
事後学習	自治体財政に大きく貢献する税収項目について復習するとともに、それらの財源を得るために必要な政策について整理する。
参考文献	

第12回	
事前学習	PFIやPPPという用語について、インターネット等で調べておく。
授業内容	「公共インフラの運営」 日本では国・地方ともに財政上の課題を抱えている。このような状況下で、公共インフラの運営方法は公共が設置し、サービスを提供するという従来のものから、官民が協働して提供するという流れが起きてきている。授業ではこれらの歴史的経緯と新しい公共インフラの運営をするにあたっての政策上の課題について説明をする。
事後学習	授業内容をもとに日本のPPP/PFIの課題について整理する。
参考文献	

第13回	
事前学習	道路が誰のお金で整備されているのかを新聞やインターネットの記事から調べておく。
授業内容	「受益と負担のあり方の再考①」 公共インフラの分野では、誰のお金で整備し、誰からお金を回収するのか大きなテーマとなっている。そこで授業では道路整備の問題を取り上げ、グループワークを通じてこれからの道路整備のあり方や上下水道整備のあり方について検討する。 授業内テストのテーマを提示する。
事後学習	日本の道路整備の課題について授業内容を復習し、整理しておく。

参考文献	
第14回	
事前学習	授業内容を振り返り、「まとめプリント」を作成すること。
授業内容	「受益と負担のあり方の再考②」 日本では上下水道は各地方自治体が整備・運営しているが、その経営は芳しくない状況が続いている。このような状況下で浜松市では下水道の民営化、仙台市では上下水道の一体的民営化が実現したが、授業ではこれらの政策過程について講義を行う。またグループワークを通じて、上下水道の運営のあり方を検討する。
事後学習	授業内容を復習し、自分の住んでいる地域の上下水道の運営状況について調べておく。
参考文献	

第15回	
事前学習	授業全体の振り返りをしておく。
授業内容	授業内テストを実施する。 *特別の場合に限り、追試験を実施する。特別な事情を有する学生は前週までに教員に相談すること。
事後学習	授業内容を振り返る。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><コDP-2> 【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】 コミュニティ政策学に関する考え方及び基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p><コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p><コDP2-(2)> 講義科目で学んだ専門的な知識とサービスラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p><コDP2-(3)> 地域社会の多様な場において、コミュニティ形成の中核を担う職業人としての態度・志向性を持っている。</p>
-----------	--